

日本医療研究開発機構（AMED） 「革新的がん医療実用化研究事業」（3次公募）公募開始について

平成 27 年 6 月 26 日

信濃町地区研究者各位

信濃町キャンパス 学術研究支援課

6 月 23 日付で『革新的がん医療実用化研究事業』について新規課題（3 次公募）が公募されました。

ご応募を検討されている研究者におかれましては下記照会先までご一報くださいますようお願いいたします。

(1) 応募意思の申し出締切：【平成 27 年 6 月 26 日（金）】

(2) 応募書類一式提出締切：【平成 27 年 6 月 29 日（月）】

【注意点】

- ・ 本学で応募が可能な方は、本学と雇用関係のある”常勤”の研究者となります。
- ・ 提案書の提出方法：【e-rad】

—公募概要—

「革新的がん医療実用化研究事業」（3 次公募）

<http://www.amed.go.jp/koubo/010320150623.html>[外部ページ]

【提案書提出期間】平成 27 年 6 月 23 日～平成 27 年 7 月 10 日（金）

<（領域 1）がんの本態解明に関する研究>

【研究課題名】：AYA 世代のがんの本態解明及び治療方法開発を目指した研究

【研究費の規模】：初年度 上限 2 億 5 千万円（間接経費込み）

2 年度以降 1 億円（間接経費込み）

※間接経費は直接経費の 30%を限度とする。

【研究実施予定期間】最長 3 年度 平成 27～29 年度

【採択課題数】 1 課題

【研究内容、求められる体制など】

- ・ AYA 世代の希少がんに着目し、若年発症の基盤となる患者背景因子、遺伝子異常プロファイル等の情報に基づいたゲノム機能解析を通じた治療方法の開発を行う研究
- ・ 既存の希少がんネットワークを活用する等、全国規模での患者の臨床検体の収集体制が整備されており、また得られた成果を実用化へつなげるための臨床研究体制も合わせて構想されていることが求められる。
- ・ 研究組織に、希少がん診療に精通した病理医、バイオインフォマティクスの専門化、臨床遺伝及び遺伝カウンセリングの専門化が含まれていること。

<（領域5）新たな標準治療を創るための研究>

【研究課題名】：新規抗がん薬の治療最適化を目指した包括的情報集積体制の確立に関する研究

【研究費の規模】：初年度 上限 1 億 7 千万円（間接経費込み）

2 年度以降 1 億円（間接経費込み）

※間接経費は直接経費の 30%を限度とする。

【研究実施予定期間】 最長 3 年度 平成 27～29 年度

【採択課題数】 1 課題

【研究内容、求められる体制など】

- ・ 市販後間もない抗がん薬を対象に、市販直後調査に加えて PK/PD/PGx 解析を含めた臨床試験を実施することにより、当該抗がん薬の使用方法の最適化を実現する研究
- ・ PK/PD/PGx 解析が可能な既存の研究基盤があること
- ・ 臨床検体情報を広く集積するための全体的な研究体制を構築することに関する具体的な方策が明記された研究計画を優先的に採択する
- ・ 臨床研究の実施経験を有する研究者及びバイオインフォマティクスの専門家が含まれていること。

担当（照会先）：信濃町キャンパス 学術研究支援課 AMED 担当

メール：amed-shinano@adst.keio.ac.jp